

## 8 産業廃棄物処理業における危険性又は有害性の具体例

産業廃棄物処理業における危険性又は有害性と発生のおそれのある災害の例として、作業ごとにまとめると次のようなものがあります。初めてリスクアセスメントを導入する場合などに参照すると効果的です。

### 共通事項（積み込み・荷下ろし・受け入れ）

| 作 業              | 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害の例   |
|------------------|--|
| 積み込み<br>(容器)     | 積み込み中、容器の蓋が開き廃棄物が漏出したため、作業員が手に薬傷を負う  |
| 積み込み<br>(感染性容器)  | 感染性廃棄物の容器の蓋が開いたとき、誤って廃棄物に手を触れたので、感染症になる  |
|                  | ダンボール容器に入った感染性廃棄物を積み込むとき、容器から注射針が突起していたので、作業員が手に刺す                               |
|                  | 院内容器保管場所で積み込みをするとき、未収納の感染性廃棄物（鋭利なもの）が放置されていたので、作業員が足を切り感染症になる                    |
| 積み込み<br>(一般)     | 炎天下での引取り作業をするとき、熱中症になる   |
| 積み込み<br>(ユニック車)  | ユニック車でコンテナの積み込み作業中、巻過ぎ防止装置が作動しない状態でワイヤーを巻き過ぎたので、ワイヤーが切断し、積荷が落下して作業員の足に当たり骨折する    |
| 積み込み<br>(ユニック車)  | ユニック車で廃棄物を積み込み中、廃棄物の重量目測を誤り無理に吊り上げたので、ユニック車が横転し、レバー操作をしていた運転手が全身を強打する            |
|                  | ユニック車でコンテナの積み込み作業中、積荷の重量と作業半径によるクレーンの能力を考慮しないで作業を実施したので、ユニック車が横転し、作業員が全身を強打する    |
|                  | ユニック車でコンテナの積み込み作業中、上方向の確認が不十分だったので、電線にブームが接触し感電する                                |
|                  | ユニック車でコンテナの積み込み作業中、アウトリガーの地盤確認が不十分だったので、アウトリガーが沈下してユニック車が横転し、積み込み作業員が逃げ遅れて足を骨折する |
| 積み込み<br>(ホース)    | 廃液をポンプでドラム缶に積んでいたとき、ホースがはずれて廃液が飛び散ったため、作業員が目に薬傷を負う                               |
|                  | 油回収の準備のため、4インチホースを急に持ち上げたので、ギックリ腰になる   |
|                  | 収集運搬車両に廃液タンクからホースで移送するとき、ホースが裂けたので、作業員が全身に薬傷を負う                                  |
| 積み込み<br>(ホース・吸引) | EP灰回収のためパープロで吸引していたとき、ホースが暴れたので、ホースで足がたたかれ、転倒し腰を打撲する                             |
|                  | 工場の中にある角タンクから廃油を回収するため、ホースを延長し、パープロで吸引していたとき、急にホースが暴れたので、歩行中の作業員の足に当たり骨折する       |
|                  | 廃油回収のため、パープロで吸引していたとき、ホースが破れて油が噴出したので、作業員の顔にかかり、目の粘膜を負傷する                        |